

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 福祉市民ネット・川西

②施設・事業所情報

名称：ヒューマンホープ 伊丹東有岡事業所	種別： 就労継続支援A型（雇用型）
代表者氏名： 今川 知典	定員（利用人数）： 20 名
所在地： 兵庫県伊丹市東有岡3丁目81番地	
TEL： 072-782-7377	ホームページ： https://humanhope-web.jimdosite.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2015年7月1日	
経営法人・設置主体（法人名）： 特定非営利活動法人 兵庫大阪ヒューマンホープ	
職員数	常勤職員： 3 名 非常勤職員： 3 名
専門職員	(専門職の名称) 名 (サービス管理責任者) 2名
	(介護福祉士) 1名 (社会福祉主事) 1名
	(保育士) 1名
施設・設備の概要	(居室数) (設備等)

③理念・基本方針

すべての人々に就労の機会と雇用、安定した社会的保障と生活を・・・
人生一度きりである。

④施設・事業所の特徴的な取組

全障がい者の方々に安定して生活を送って頂くための収益増加と厚労省指摘事項の障がい者総合支援法第192条第2項（利用者賃金分生産活動収益で賄う）を満たす活動

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年9月8日（契約日）～ 令和4年2月15日（評価結果確定日）
受審回数 （前回の受審時期）	第1回目

⑥総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>事業所の代表は福祉関係外から障がい福祉の分野へ足を踏み入れ、一から学び高い志を持ち、平成27年、伊丹市内で初めて就労継続支援A型事業所を開所した。昨年から1年以上続く新型コロナウイルス感染拡大防止策による影響で事業所も活動や運営に制限を受け、厳しい状況下にあったが、法人理念にある「障がいがある方々が仕事を通して、希望を持ち、社会の一員として働く喜びを抱くことができる支援」を念頭に、利用者に生産のノルマを課すことなく自主性を重んじ、最低賃金以上の支払いを継続することができた。利用者個々の特性に合った支援に取り組み、外部関連職種とも連携し、就労意欲向上に向けた個別支援を計画的に実施している。特に利用者のメンタル面のサポートに重みを置き、日々の訪問看護師による個人面談は利用者にとって心身の安定、安心につながっている。また職員も看護師と連携し心身の状態を把握し支援に生かしている。今回、困難な状況のなかで第三者評価を受審し更に前向きに取り組もうとしている事業所の姿勢を評価しつつ、今後の市内唯一の就労継続支援A型事業所として先駆的な取り組みを期待したい。</p>
<p>◇改善を求められる点</p> <p>事業所開設から6年、多くのことを模索しつつ全力で邁進し、成果を上げてきているが、事業計画の策定が不明確である。理念、基本方針に基づき中長期的なビジョンを明確にしていくと共に組織的な仕組みづくりや支援の質の向上の取り組みが望まれる。まずは利用者支援のベースとなる事業所独自の標準的な支援方法の策定を行い、職員間で共有できるようしくみを確立していただきたい。中でもプライバシーをはじめ利用者を尊重する取り組みは重視してほしい。</p>

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

<p>第三者評価を受審し、現在まで邁進し続けている成果や、今後必要である課題について具体的に把握する事ができました。より良い事業所へと希望を持って取り組んでいくための大きな一歩だと感じました。第三書評価結果を真摯に受け止め、成長、発展の糧にしたいと思います。</p> <p>就労継続支援 A 型事業所としての在り方や、障害のある方々とのつながりを大切にしつつ、中長期的なビジョンを明確、共有し、今後とも前向きに取り組んでいきます。</p>

⑧各評価項目に係る第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<コメント> 障がいがあろうとも希望を持って社会の一員として働く喜びを感じてほしいとの所長の強い思いから、就労を目的に障がい者の自立を目指している。職員に対して改めて理念を説明することはなく、雇用の際にポイントのみ伝えている。利用者や家族には、事業所パンフレットをもとに説明しており、利用者にはその場で簡単な作業体験から実感してもらっている。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<コメント> 伊丹市で初めての就労継続支援A型事業所で何もわからない中でのスタートであったため、独学で学び情報収集を図った。参考になる他事業所などの好事例に行きあたっていないが、A型事業所に関することについては十分学び、理解している。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・b・c
<コメント> 利用者の賃金を最低賃金以上としていることから、作業等の生産活動とのバランスが取りにくくなることもあり、経営面への影響が避けられない。この度の新型コロナウイルス感染症の影響により、さらに悪化したが、現在は徐々に戻りつつある。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<コメント> 中・長期の計画は策定していない。今後は少なくとも3年から5年を目安に、検討いただきたい。		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<コメント> 作業に関する目標はあるが、法人としての計画策定は行っていない。今後は職員の提案や意見		

ヒューマンホープ 令和3年度第三者評価結果

等をもとに目標を掲げ、そのための取り組みを具体化されてはいかかがか。	
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 a・b・c
<コメント> 職員からの提案や意見等を吸い上げ、事業内容の充実や環境の整備に繋げていただきたい。	
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。 a・b・c
<コメント> 利用者にもわかりやすい計画を共に作成されてはいかかがか。	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 a・b・c	
<コメント> 今回の第三者評価受審を好機とし、今後の継続した取り組みにしていきたい。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 a・b・c	
<コメント> 今後の検討課題としていただきたい。		

評価対象II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 a・b・c	
<コメント> 利用者の賃金や生産性の向上に向け、特にメンタル面での支援に力を入れている。管理者は常に働きやすい環境を意識し、そのための支援には積極的に取り組む姿勢でいる。特に職員や利用者へに改まって役割や責任について表明することはない。		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。 a・b・c	
<コメント> 管理者は、独学で学び知識を深めており、法令等についても積極的に把握している。取引先や就労関係機関とは、日頃から良好な関係を築けるよう働きかけている。		

ヒューマンホープ 令和3年度第三者評価結果

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<コメント> 管理者は、賃金及び生産性の向上に向け利用者、職員と共に作業を行い、そのための支援に努めている。法人としての組織的なしくみにはいたっておらず、所長として共に携わっている。		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<コメント> 管理者は自身の責務として、安定的な経営及び生産活動に向け取り組んでおり、常に利用者との良好な協力関係を築いている。		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<コメント> 法人として、特に具体的な計画は策定されていない。今後は、理念実現のためにも方針を明確にされてはいかかがか。		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<コメント> まだ体制としては未整備であり、今後検討いただきたい。		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・b・c
<コメント> 普段の業務の中で話を聞く機会はあると思われるが、全職員を対象とした定期的な面談の場が必要ではないだろうか。		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<コメント> 検討いただきたい。		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<コメント> 定例的な内容や職員の意向を踏まえた研修体制は必要と思われるので、今後検討いただきたい。		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
<コメント>		

ヒューマンホープ 令和3年度第三者評価結果

<p>職員の学びの姿勢を促し、積極的に機会の提供に努めているが、職員の理解度に応じた個別的な習熟の場があった方が、よりいいのではないかと。</p>		
<p>Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>		
20	<p>Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	a・b・㉔
<p><コメント> 機会があれば検討いただきたい。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・(b)・c
<コメント> この機会に、利用者や職員の想いの詰まったホームページの作成、同時に地域への発信も検討いただきたい。		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・(b)・c
<コメント> 法人及び事業所体制の内容によっては、職員への周知も必要と思われる。		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・(c)
<コメント> 事業所が発展していくためにも、地域への理解を働きかける場を検討いただきたい。		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	a・b・(c)
<コメント> 機会があれば検討いただきたい。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・(b)・c
<コメント> 関係機関とは利用者への適切な支援のための情報交換、共有が図られ、利用者の就労への意欲向上に向けた連携が確保されている。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a・b・(c)
<コメント> 今後の検討課題としていただきたい。		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・(c)
<コメント> 今後の検討課題としていただきたい。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 理念である「利用者が社会の一員として働く喜びを抱ける支援を目指す」ためにも、職員が利用者の尊重や基本的人権への配慮について共通認識をもって実践できる取り組みをさらに進めていただきたい。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・b・(c)
<コメント> 早急なマニュアル等の整備、定期的な周知の場を検討いただきたい。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・(b)・c
<コメント> 見学者が不安を感じないよう体験を通じて実感してもらい、リーダーを務めている利用者が、見学者の想いや意向に添いながら丁寧に説明し対応している。 事業所の簡単な紹介案内のチラシなどを作成し、関係機関等に置いてみてはどうか。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a・(b)・c
<コメント> 職員は、利用者が納得いくまで丁寧に時間をかけ、口頭で説明している。ただ資料の用意やルール化までにはいたっていない。		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 手続き等の文書化はできていない。担当者以外の誰でもわかるような簡単な流れを明示されてはどうか。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 利用者満足度としては行っていないが、メンタル面を中心に生活全般に関することや利用者の働きやすい環境の為の面談を定期的に行うことで、利用者の心身状況の把握に繋がっている。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・(b)・c

ヒューマンホープ 令和3年度第三者評価結果

<コメント>

利用者が苦情などを出しやすい環境やきっかけなど、何らかの工夫や丁寧な対応が考えられないか。

ヒューマンホープ 令和3年度第三者評価結果

35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・(b)・c
<コメント> 利用者にも参加してもらい、より分かりやすいチラシの作成を試みてはいかがか。		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・(b)・c
<コメント> この度の利用者へのアンケートの実施を活かし、継続した取り組みにしていきたい。		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・(c)
<コメント> リスクに関する事業所独自の文書化、職員への周知を図っていただきたい。 事業所内で起こるかもしれないあらゆる場面を想定できるようになるためにも、職員の気づきを促す取り組みを検討いただきたい。例えば、ヒヤリ・ハットに関する意識向上など。		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、実践した内容を活かし、それを基にマニュアルとして整備するなど、今後の感染症対策に活かしていただきたい。		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的にやっている。	a・(b)・c
<コメント> 今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら避難訓練を再開していただきたい。その際にはまず、周辺の地域への情報発信、事業所の周知等から始めてみてはいかがか。		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・b・c
<コメント> これまでの実践状況、経験を活かした事業所独自の方法をわかりやすい形にされてはどうか。		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<コメント> 検討いただきたい。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	a・b・c
<コメント> 職員は、利用者個々の多くの場面でアセスメントをした結果から協議し、支援計画を立案しているが、さらにアセスメントの手法について研修を行い、職員のアセスメントスキルを向上させる取組を考えてみてはどうか。		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
<コメント> 就労継続支援A型計画書の評価、見直しの流れ、組織的なしくみはおおまかには定められているが、具体的な手順の明記がない。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・b・c
<コメント> 効果的な情報共有の方法を工夫し、支援の実施状況を適切に記録している。さらに職員間で共有できる確実なしくみがあると、よりいいものになるのではないかと。		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<コメント> 記録の管理体制の整備をお願いしたい。		

評価対象A 内容評価基準

A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
A①	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a・(b)・c
A-1-(2) 権利侵害の防止等		
A②	A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a・b・(c)

特記事項

<p>就労を目的にできること、やりたいことの自己決定を尊重している。利用者のやる気を促し、自信を深めたことで一般就労につながった事例がある。作業内容にあわせ、多少無理であっても、やりたい意思を尊重し、特性に応じて一人での作業内容や環境を用意している。一部の利用者は作業内容、手順、ルール等全て利用者間で取り決め、自主的に行っている。</p> <p>権利侵害の防止等についての具体的なしくみは、今後の課題である。早急に作っていただきたい。</p>
--

A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
A③	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	(a)・b・c
A④	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a・(b)・c
A⑤	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a・(b)・c
A⑥	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a・b・c
A⑦	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a・(b)・c
A-2-(2) 日常的な生活支援		
A⑧	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a・b・c
A-2-(3) 生活環境		
A⑨	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a・b・c
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
A⑩	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a・b・(c)
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
A⑪	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a・(b)・c

ヒューマンホープ 令和3年度第三者評価結果

A⑫	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a・b・c
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
A⑬	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a・b・c
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
A⑭	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a・b・c
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
A⑮	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a・b・c

特記事項

<p>作業内容によっては、利用者がリーダーとなり、主体的に運営するなど、自主性が重んじられている。今後も、利用者のやる気と能力を最大限引き出し、活かすことでその人なりの自立に向けた働きかけを継続している。</p> <p>職員は他者との関わりやコミュニケーションは苦手な人、こだわりが強い人へは、周りの環境に注意しつつ、丁寧に向き合い、落ち着いて話しができるよう配慮している。障害の特性により、利用者の納得、理解が十分ではない場面もあるが、その都度丁寧に聴いている。</p> <p>訪問看護師による定期的面談により、利用者の心身状態の把握はできている。ただ、利用者が職員に聴いてほしいと思ったときなど、気軽に話せる場面を設けるなど、話しやすい雰囲気づくりと場が工夫できないだろうか。</p> <p>個別支援計画は、雇用による作業内容などが中心となっており、余暇活動に関する意識は薄い。利用者の個別の要望に応じての支援内容にとどまっている。</p> <p>利用者個々の特性、利用者間での関係性を踏まえ、一人作業、チームでの作業、工程や環境など、出来るだけ調整するようにしている。職員は研修に積極的に参加し、障がいの特性や適切な支援方法について学んでいる。</p> <p>ほぼ自立している利用者の健康面の自己管理を見守りつつ、訪問看護師と共に支援している。看護師の訪問が利用者、職員双方に安心感をもたらしている。</p> <p>市の「チャレンジ事業」に毎回参加し、希望の利用者は面接、合格のうえ一か月公共施設で体験している。施設外就労についても利用者の意向に応じて推進している。利用者からの希望で作業以外に計算や漢字ドリルなどを習慣にしている人に学習支援を行ってもいる。</p> <p>住まいについてや生活するうえで必要な手続き、情報提供など、個々に支援している。仕事の取引先に利用者と同行し、体験させてもらうこともある。地域生活支援センターとの連携を深め、地域生活に必要な情報提供、機会の提供に努めている。</p> <p>自立支援計画更新時に、発達障がいのある利用者の家族が参加して一緒に話し合うことはある。保護者の希望で作業を見学することもあり、その際は作業内容の説明や利用者の様子を伝えている。家族からの問い合わせや相談には、その都度対応している。家族が来訪しやすい案内の工夫、働きかけを望みたい。</p>	
---	--

A-3 発達支援

		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
A⑯	A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c

特記事項

非該当

A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
A⑰	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・ b ・c
A⑱	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a・ b ・c
A⑲	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・ b ・c

特記事項

職員は就労のベースとなる毎日の通所を前提に、声かけやメンタル面でのサポートを行い、利用者の性格、能力、意欲を尊重した支援に努めている。今後も利用者の主体性を導き出しながら、自信を深めていける取組みを望みたい。

利用者の障がい特性だけでなく、生活や意欲を尊重した作業提供に努め、ノルマを課すことはせず、自主性を大事にしている。作業の進捗状況を見ながら取引先とは連携を図っている。安定した生産活動は難しいが、最低賃金は保証している。

管理者は就労先への理解、開拓に努め、働きかけながら関係性を築いてきたが、マッチングまでにはいたっていない。この新型コロナウイルス感染症の状況では難しいのではと考えている。生活支援センターやハローワークとは連携し、情報交換に努めている。今後も障がいへの理解、就労への働きかけを続けていただきたい。